

地域の防災リーダーの活動について

能登地方地震の概要（気象庁情報）

1. 発生日時 令和6年1月1日 16時10分
2. 地震の規模等 最大震度7（志賀町、輪島市） マグニチュード7.6
3. 人的被害等 死者241名 避難者数13,535名（内閣府発表）

今回の能登半島地震のような大規模な災害が発生した直後は、行政による救助・支援の「公助」に限界がある為、自分の命は自分で守る「自助」地域で助け合う「共助」が非常に重要となります。その活動の中核となるのが、災害対策委員や自主防災会長など、地域の防災リーダーの皆様です。

災害対策委員をはじめとする地域の防災リーダーには、**自主防災組織、災害救助地区本部、避難所管理組織**といった地域の役割があります。

そこで名古屋市では地域の防災リーダーの皆様の為に、災害発生時の初動期における地域防災活動について学べる、便利なリーフレットとシート及び動画が作成されています。

☆発災時どうする？地域の防災リーダーの活動

地域の防災リーダーとなる方が、災害発生時にどのような初動をとるべきなのか、災害に備えてどのようなことをしておくべきかといったことを簡潔にまとめたリーフレットです。



☆名古屋市 地域の防災リーダー 初動対応シート 解説動画

リーフレットを基に、各組織の標準的な活動例や、組織間の連携ポイント等をより詳しく整理したシートです。初動対応の流れを分かりやすくした動画も作成されています。



QRコードから名古屋市のHP
の該当ページにアクセスできます。

※PC サイトでも確認ができます。

「初動対応シート 名古屋」と検索して下さい。